

(地Ⅲ110)

平成20年7月23日

都道府県医師会
担当理事 殿

日本医師会
常任理事 内田 健



社会保険診療報酬支払基金の特定健診・保健指導決済システム
によるXMLスキーマチェックの実施について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、現行の支払基金のシステムによる健診等機関から提出されたデータの条件チェック仕様につきましては、支払基金ホームページに公表がなされており、スキーマチェック（国が示したXMLデータの構造定義に準拠しているかどうかのチェック）は行われておりませんでした。

支払基金から保険者に対して6月処理分（5月健診等実施分）の報告を行ったところ、保険者のシステムに一部データが取り込めない事象が発生し、原因を調べた結果、保険者のシステムでは、本年5月28日付け厚生労働省事務連絡「電磁的方式により作成された特定健康診査及び特定保健指導に関する記録の様式等について」に基づくスキーマチェックが行われていることが判明しました。

このことから、支払基金では臨時的に6月処理分（5月健診等実施分）のスキーマエラーデータを修正し、保険者報告用データを再作成して該当保険者へ差し替えを提出し対応いたしました。

しかし、長期に亘って臨時処理を行うことが困難なことから、今般、支払基金においてもシステムを変更し、8月6日以降の受付分からスキーマチェックを標準仕様として実施されることとされ、別添のとおり、基金本部情報管理部長より都道府県基金幹事長宛に「特定健診・保健指導決済システムのエラーチェック機能の追加等について」の通知がなされております。

特定健診・特定保健指導のシステム開発ベンダ、及び特定健診・特定保健指導機関によっては、請求システムを自主開発している場合があることから、支払基金より別紙のとおり直接連絡がなされることになっております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知の上、貴会管下郡市区医師会等への周知方、よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

本情管シ発 000161

平成 20 年 7 月 8 日

都道府県基金幹事長 殿

基金本部情報管理部長

(公 印 省 略)

特定健診・保健指導決済システムのエラー
チェック機能の追加等について（通知）

基金の特定健診・保健指導決済システムにおける基本的事項については、基金ホームページに公開し、関係者が構築するシステムとの調和を図り、最低限のチェックを行うことにより実質的な運用が円滑に行えるよう、電磁的記録の様式（以下「XMLスキーマ」という。）の詳細なチェックは基本的事項には含めていませんでした。

しかしながら、保険者によっては、本年 5 月 28 日付け厚生労働省の事務連絡「電磁的方法により作成された特定健康診査及び特定保健指導に関する記録の様式等について」を受けて、XMLスキーマのチェックを実施していることもあり、基金においてもエラーチェックの機能を追加することとしましたので下記により適切に対応されるよう配意願います。

記

1 基金の対応

(1) XMLスキーマのエラーチェック機能の追加

XMLスキーマのエラーチェックについては、システム開発ベンダ等のシステム改修期間等を考慮し、本年 8 月 6 日（水）以降の受付分から実施することとしたこと。

なお、XMLスキーマのエラーチェックでエラーとなった特定健診・特定保健指導データ（以下「健診等データ」という。）については、ファイル単位で受付不能（L2エラー）とすること。

(2) XMLスキーマのエラーチェック機能の追加を行うまでの間、特定健診・特定保健指導機関（以下「健診等機関」という。）から請求された健診等データにXMLスキーマエラーが発生していても、基金での受付は行うこと。

なお、受け付けた健診等データにスキーマエラーがあった場合は、本部においてXMLスキーマエラーが発生した箇所を修正の上、保険者へ報告

すること。

- (3) 健診等機関用の請求システムを開発しているシステムベンダーに対しては、本部からXMLスキーマのチェックを行う旨、連絡すること。
- (4) 健診等機関によっては、請求システムを自主開発している場合もあるので、別紙を参考とし、支部においてすべての健診等機関へ連絡すること。

2 その他

- (1) 上記1の(2)の修正作業等を行う関係から、8月5日(火)までの保険者報告用データの作成完了日を8月12日(火)から8月8日(金)に繰り上げるので、8月8日(金)までに補正・返戻等の処理を終了すること。
- (2) 6月処理分で発生したスキーマエラーの事例は、別添のとおりであり、近々、支払基金ホームページにも掲載する予定であること。

本件に関する問い合わせ先

情報管理部 システム開発課

小田島、兼保、濱田

IP TEL (内線発信番号)+48+848~850

特定健診・保健指導機関 各位

〇〇〇社会保険診療報酬支払基金

支払基金の特定健診・保健指導決済システムによる
XMLスキーマチェックの実施について（お知らせ）

平素は支払基金の業務運営にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、支払基金では、平成20年4月から健診等データの授受及び費用決済を開始しました。

現行の支払基金のシステムによる健診等機関から提出されたデータの条件チェック仕様は、支払基金ホームページで公表しているとおりであり、スキーマチェック（国が示したXMLデータの構造定義に準拠しているかどうかのチェック）は行っておりませんが、先般、支払基金から保険者に対して6月処理分（5月健診等実施分）の報告を行ったところ、保険者のシステムの一部データが取り込めない事象が発生し、原因を調べた結果、保険者のシステムでは本年5月28日付け厚生労働省事務連絡「電磁的方式により作成された特定健康診査及び特定保健指導に関する記録の様式等について」に基づくスキーマチェックが行なわれていることが判明しました。

このことから、支払基金では6月処理分（5月健診等実施分）のスキーマエラーデータを修正のうえ、保険者報告用データを再作成して該当保険者へ差替えを依頼するとともに、当面は、保険者報告用データの作成前に臨時的なツールによってスキーマチェックを行い、エラー分を修正することとしました。

しかしながら、このような臨時処理を長期に亘って行うことは困難であるため、支払基金においてもシステムを変更し、8月6日以降の受付分からスキーマチェックを標準仕様として実施することとしました。フリーソフトの提供ベンダーを含めシステムベンダーへは、支払基金本部からその旨を連絡し、健診等機関のシステムにおいてもスキーマチェックを実施するよう要請しましたが、システムを自主開発されている健診等機関であってスキーマチェックを行っていない場合は、同様にスキーマチェックを実施されるようお願いいたします。

なお、今回発生したスキーマエラーの事例を添付しますので、システム改

修等の参考としてご利用願います。また、このスキーマエラーの事例は、近日中に支払基金ホームページにも掲載しますので併せて申し添えます。

事 務 連 絡
平成 2 0 年 7 月 8 日

特定健診・保健指導関係システム開発ベンダー 各位

社会保険診療報酬支払基金

支払基金の特定健診・保健指導決済システムによる
XMLスキーマチェックの実施について（お知らせ）

平素は、支払基金が行う特定健診・保健指導の費用決済等の代行業務に対してご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、現行の支払基金のシステムによる健診等機関から提出されたデータの条件チェック仕様は、支払基金ホームページで公表しているとおりであり、スキーマチェック（国が示したXMLデータの構造定義に準拠しているかどうかのチェック）は行っておりませんが、先般、支払基金から保険者に対して6月処理分（5月健診等実施分）の報告を行ったところ、保険者のシステムに一部データが取り込めない事象が発生し、原因を調べた結果、保険者のシステムでは本年5月28日付け厚生労働省事務連絡「電磁的方式により作成された特定健康診査及び特定保健指導に関する記録の様式等について」に基づくスキーマチェックが行なわれていることが判明しました。

このことから、支払基金では6月処理分（5月健診等実施分）のスキーマエラーデータを修正のうえ、保険者報告用データを再作成して該当保険者へ差替えを依頼するとともに、当面は、保険者報告用データの作成前に臨時的なツールによってスキーマチェックを行い、エラー分を修正することとしました。

しかしながら、このような臨時処理を長期に亘って行うことは困難であるため、支払基金においてもシステムを変更し、8月6日以降の受付分からスキーマチェックを標準仕様として実施することとしました。システム変更後はスキーマエラーを含むファイルは受付できなくなりますので、健診等機関のシステムにおいてもスキーマチェックを行っていただく必要があります。

については、システムベンダー各位におかれましても、所要のシステム改修及び接続試験（7月16日以降実施可能）を実施されるようお願いいたしますとともに、システムユーザである健診等機関へのフォロー（①システム改修が完了するまでの間の臨時的なスキーマチェックの実施や②フリーソフトの利用者に対する改修プログラムの再ダウンロードの案内等）を併せてお願いいたします。

なお、今回発生したスキーマエラーの事例を添付しますので、システム改修の参考としてご利用願います。また、このスキーマエラーの事例は、近日中に支払基金ホームページにも掲載しますので併せて申し添えます。

スキーマチェックのエラー事例

1. 特定健診データファイル

| | エラー内容 | 正しい記録 | 誤り事例 |
|---------|----------------|---|--|
| 事例 1 | XML ヘッダ情報の記録誤り | <pre><?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?> <ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd"></pre> <p>(参考) 特定健診情報ファイル仕様説明書 Version1.27 Page8 ファイルアーカイブ仕様書 Version1.51 Page4 ※XML ヘッダの基本的な書き方は特定健診情報ファイル仕様説明書を参照してください。ただし、XSD のフォルダ名及びスキーマファイルのファイル名はアーカイブ仕様書を正しいものとして処理を行ってください。(具体的には、特定健診情報ファイル仕様説明書では小文字となっているフォルダ名「xsd」及びスキーマファイル名の「v」は、大文字で記録してください。)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>「3」と「.」の間に半角スペースが入ります。</p> </div> | <p>スキーマファイルのフォルダ“XSD”及びファイル名の“V”が小文字になっている。 ../xsd/hc08_v08.xsd</p> <p>スキーマファイルのパスの指定の間のスペース(空白)が漏れている。 xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3../XSD/hc08_V08.xsd"></p> <p>スキーマロケーションの“L”が小文字になっている。 xsi:schemalocation</p> |
| 事例 2 | 氏名、住所等の記録順序誤り | <pre><patientRole> ① <id extension="12000001" root="1.2.392.200119.6.101" /> <id extension="あああ" root="1.2.392.200119.6.204" /> <id extension="103" root="1.2.392.200119.6.205" /> ② <addr> <postalCode>105-0004</postalCode> 東京都港区新橋2-1-3 </addr> ③ <patient> ④ <name>ケンシンタロウ</name> ⑤ <administrativeGenderCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.1104" /> ⑥ <birthTime value="19600203" /> </patient> </patientRole></pre> | <p>氏名(<name>) タグが住所より上に記録されている。 <patientRole> (中略) <name>ケンシンタロウ</name> <addr> <postalCode>105-0004</postalCode> 東京都港区新橋2-1-3 </addr> <patient> <administrativeGenderCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.1104" /> <birthTime value="19600203" /> </patient> </patientRole> ※特定健診決済情報ファイルとは住所、氏名等の順番が異なるので注意してください。</p> |
| 事例 3 | 未実施を表す記録方法の誤り | <pre><entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="true"> <code code="9N056000000000011" displayName="既往歴" /> </observation> </entry></pre> | <p>未実施の場合の値“true”が大文字となっている。 negationInd="TRUE"</p> |

スキーマチェックのエラー事例

| | エラー内容 | 正しい記録 | 誤り事例 |
|---------|---------------------|--|--|
| 事例 4 | 単位コードの記録方法の誤り | <pre><entry> <observation classCode="OBS" moodCode="EVN"> <code code="9N001000000000001" displayName="身長" /> <value xsi:type="PQ" value="165.0" unit="cm" /> </observation> </entry></pre> | <p>単位コードの値が記録されていない。 unit="" 単位コードを適切に設定するか、または単位コードが不要な場合は unit 自体を記録しないでください。</p> |
| 事例 5 | 検査項目リスト説明ブロックの記録誤り | <p>(例1 <list>記録ありの例)</p> <pre><title>特定健診検査・問診セッション</title> <text> <list> <item>身長 176.6 cm</item> <item>体重 77.5 kg</item> <item>BMI 25.5 kg/m2</item> <item>腹囲</item> <item>メタボリックシンドローム判定 予備軍該当</item> <item>保健指導レベル 積極的支援</item> </list> </text></pre> <hr/> <p>(例2 <list>記録なしの例)</p> <pre><title>任意追加セッション</title> <text/></pre> | <p>検査項目リスト(<list>)タグのみ記録され、検査項目(<item>)タグの記録がされていない。 <text> <list> </list> </text> 検査項目リストを設定する必要がない場合は<list>タグは記録しないでください。</p> |
| 事例 6 | 受診券発行保険者のクラスコード記録誤り | <pre><associatedEntity classCode="IDENT"> <id extension="10111293841" root="1.2.392.200119.6.209.112000001" /> <scopingOrganization> <id extension="12000001" root="1.2.392.200119.6.101" /> </scopingOrganization> </associatedEntity></pre> | <p>classCode となるべきところが typeCode 等誤った属性が記録されている。 <associatedEntity typeCode="IDENT"></p> |

2. 特定健診決済情報ファイル

| | エラー内容 | 正しい記録 | 誤り事例 |
|---------|----------------|---|--|
| 事例 7 | XML ヘッダ情報の記録誤り | <pre><?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?> <checkupClaim xmlns="http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:schemaLocation="http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007../XSD/cc08_V08.xsd"></pre> <div data-bbox="1019 486 1355 558" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 「7」と「.」の間に半角スペースが入ります。 </div> | <p>スキーマファイルのフォルダ“XSD”及びファイル名の“V”が小文字になっている。 ../xsd/cc08_v08.xsd</p> <p>スキーマファイルのパスの指定の間のスペース（空白）が漏れている。 xsi:schemaLocation="http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007../XSD/cc08_V08.xsd"</p> <p>スキーマロケーションのLが小文字になっている。 xsi:schemalocation</p> |
| 事例 8 | 氏名、住所等の記録順序誤り | <pre><subjectPerson> ① <performerOrganization> <id root="1.2.392.200119.6.102" extension="1234567890" /> </performerOrganization> ② <insuranceCard> ③ <insurerNumber root="1.2.392.200119.6.101" extension="00001234" /> ④ <symbol root="1.2.392.200119.6.204" extension="あいう" /> ⑤ <number root="1.2.392.200119.6.205" extension="112233" /> </insuranceCard> ⑥ <name>ケンシンタロウ</name> ⑦ <addr> ⑧ <postalCode>105-0004</postalCode> 東京都港区新橋2-1-3 </addr> ⑨ <birthTime value="19600501" /> ⑩ <administrativeGender code="1" /> </subjectPerson></pre> | <p>氏名（<name>）タグが一番最後に記録されている。 <subjectPerson> （中略） </insuranceCard> <addr> <postalCode>105-0004</postalCode> 東京都港区新橋2-1-3 </addr> <birthTime value="19600501" /> <administrativeGender code="1" /> <name>ケンシンタロウ</name> </subjectPerson></p> <p>※特定健診データファイルとは住所、氏名等の順番は異なるので注意してください。</p> |
| 事例 9 | 性別タグの属性記録誤り | <pre><administrativeGender code="1" /></pre> | <p>不要な属性 codeSystem が記録されている。 <administrativeGenderCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.1104" /></p> <p>※特定健診データファイルとは記録の仕方が異なるので注意してください。</p> |

スキーマチェックのエラー事例

| | エラー内容 | 正しい記録 | 誤り事例 |
|----------|-----------|---|---|
| 事例 10 | 決済情報の記録誤り | <pre> <settlement> ①: <claimType code="4" /> ②: <commissionType code="2" /> ③: <unitPriceBasic> <amount value="3000" currency="JPY" /> </unitPriceBasic> ④: <unitPriceDetail> <amount value="1000" currency="JPY" /> <observation code="1" /> </unitPriceDetail> <unitPriceDetail> <amount value="1200" currency="JPY" /> <observation code="2" /> </unitPriceDetail> ⑤: <unitPriceOther> <amount value="1400" currency="JPY" /> <observation code="12345678901234567" codeSystem="1.2.392.200119.6.1005" /> </unitPriceOther> ⑥: <paymentForBasic> <amount value="000000" currency="JPY" /> </paymentForBasic> ⑦: <paymentForDetail> <amount value="001000" currency="JPY" /> </paymentForDetail> ⑧: <paymentForOther> <amount value="000700" currency="JPY" /> </paymentForOther> ⑨: <unitAmount value="6600" currency="JPY" /> ⑩: <paymentAmount value="1700" currency="JPY" /> ⑪: <paymentByOtherProgram value="2000" currency="JPY" /> ⑫: <claimAmount value="2900" currency="JPY" /> </settlement> </pre> | <p>窓口負担金額（合計）（<paymentAmount>タグが記録されていない。窓口負担金額（合計）が0円であってもタグを記録してください。</p> <hr/> <p>単価（基本的な健診）（<unitPriceBasic>）、窓口負担金額（基本的な健診）（<paymentForBasic>）、単価（詳細な健診）（<unitPriceDetail>）の順番で記録されている。</p> <pre> <unitPriceBasic> <amount value="3000" currency="JPY" /> </unitPriceBasic> <paymentForBasic> <amount value="000000" currency="JPY" /> </paymentForBasic> <unitPriceDetail> <amount value="1000" currency="JPY" /> <observation code="1" /> </unitPriceDetail> </pre> <hr/> <p>他の検診による負担金額（<paymentByOtherProgram>）が一番最後に記録されている。</p> <pre> < claimAmount value="2900" currency="JPY" /> < paymentByOtherProgram value="2000" currency="JPY" /> </pre> <p>※また、<paymentByOtherProgram>のタグのスペル誤りで<PaymentByOtherProgram>と記録している例もありました。</p> <hr/> <p>窓口負担金額（基本的な健診）（<paymentForBasic>）タグの記録方法が誤っている。</p> <pre> <paymentForBasic value="000000" currency="JPY" /> </pre> <p>※<paymentForBasic>タグの間に<amount>タグを記録してください。</p> |